

事業名 事業主体及び提案者	7 健康増進・薬膳弁当配食サービス事業 特定非営利活動法人 シニアネットワークさがみ 宮下雅子																			
事業内容 (詳細は別添資料 企画書概要、再提案概要のとおり)	「どうい問題解決しようとしているか」 地域住民の健康増進(身体にやさしい薬膳活用) QOLの高い生活、食生活改善のきっかけづくり																			
協働の内容	「具体的な協働の項目」 ・市民のニーズにあった食事の一つとして、地域のひまわりサロン、地区社協、自治会などへの薬膳弁当の提供 ・掲示板、コミセンなどへの広報活動の開示																			
審査内容 (評価結果)	<table border="1" data-bbox="491 775 1350 987"> <thead> <tr> <th></th> <th>実現性が高い</th> <th>熟度を高める必要がある</th> <th>実現することが難しい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政所管課</td> <td></td> <td></td> <td>高齢者福祉課</td> </tr> <tr> <td>担当推進委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい	提案者				行政所管課			高齢者福祉課	担当推進委員			
	実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい																	
提案者																				
行政所管課			高齢者福祉課																	
担当推進委員																				
コメント (公開審査時)	・市民への広域的なサービス提供の実績をつくる。(推進委員) ・市の協働事業となると市全体の巨大な規模でのサービスとなる。それよりも差別化した内容のサービスを市民事業として行うほうがよいのではないか。(推進委員) ・提案者としては協働事業になるのは少し難しいと自覚はあったが、「薬膳のお弁当」ということを広くアピールするいい機会となった。(提案者) ・市の広報などで紹介することも協働と考えられるのではないか。行政としては協働事業だけでなく市民事業をPRする役割もある。市民活動も積極的に育てていくべきである。(推進委員)																			
公開審査後の経過																				
協働推進会議の意見	・地域の中で、きめ細かなサービスを行うという特徴を活かし、市民事業として進めるべきだと思う。 ・今後同様な活動を行っている団体同士のネットワーク化をすすめ、一緒に協働事業として提案する方法もあると思う。 ・「市の協働事業となると市全体の巨大な規模でのサービスとなる」とあるが、協働に必要なのは規模なのか？そうなると個人では対応できなくなる。協働事業の位置づけを今後明確にすべき。																			
具体的に検討を要請する事項	当面、協働事業として実現することは難しいが、次の点について検討いただきたい。 ・市民事業への支援。 ・小地域対象の市民事業をネットワーク化し協働事業へと発展させる方式を、提案者と行政で開発することを期待したい。																			